



平成 22 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 協和発酵キリン株式会社
代表者名 取締役社長 松田 譲
(コード番号 4151 東証第一部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
久我 哲郎
(TEL: (03)3282-0009)

2010-12年度グループ中期経営計画の概要

当社は、2010 年度を初年度とする 3 ヶ年間の中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

協和発酵キリングループは、バイオテクノロジーを基盤とし、医薬を核にした日本発の世界トップクラスの研究開発型ライフサイエンス企業を目指してまいります。

記

1. グループ基本方針

協和発酵キリングループは、中期経営計画期間中のグループ基本方針として下記を定めました。

- ① お客様に対し新たな価値を提供します。
医薬及びバイオケミカルの各事業に経営資源を集中し、お客様の多様なニーズに対し、差別化された商品・サービスを通して新たな価値を提供します。
- ② グローバル化の推進
海外のターゲット市場毎にビジネスパートナーとの連繋を含めて事業基盤を確立し、高品質の商品・サービスの提供を推進します。
- ③ コスト構造改革の推進による収益力強化
機能毎における業務プロセスの改革を推進するとともに、当社グループ内はもとよりキリングループ並びに社外を含むバリューチェーン全体を視野においた生産性向上を通じてコスト構造を変革し、収益力を強化します。
- ④ 社会への貢献と信頼性の向上
企業グループとして、環境保全・向上のための施策をあらゆる事業活動に組み込み、実施します。企業市民の義務としてグループ全体でコンプライアンス活動を徹底すると同時に、高いレベルでの品質保証に万全を期します。
- ⑤ グループ連携、能力基盤の向上
戦略の構築・展開に当ってグループとしての連携を一層強化すると同時に、その原動力となるマネジメントシステム、組織風土・人材等の能力基盤を整備、充実させます。

2. 業績目標

1) 数値目標 (2012 年度連結)

売上高	4,540 億円
営業利益 (のれん償却前)	610 億円
営業利益 (のれん償却後)	517 億円
配当性向	連結配当性向 30%以上 (のれん償却前利益ベース)

2) セグメント別目標 (2012 年度連結)

(単位：億円)

	医 薬	バイオケミカル	化学品
売上高	2,250	880	1,470
営業利益 (のれん償却前)	450	90	70
営業利益 (のれん償却後)	364	84	70

3. 本中期経営計画中の主要な戦略

1) 医薬事業

①研究開発

- －抗体技術を核にした最先端のバイオテクノロジーを駆使して、重点領域（がん、腎、免疫疾患）における探索研究を推進し開発パイプラインを充実させます。
- －海外拠点の有効活用などにより新薬の開発を加速し、複数の開発品目において早期の POC 取得を目指します。（POC：Proof of Concept）
- －適応拡大を含めた製造販売承認を毎年 2 品目以上取得することを目指します。

②生産

- －生産効率向上を実現するために生産拠点の再編に着手すると同時に、外部委託推進も図ります。
- －大規模な動物細胞培養タンクを擁する抗体治験薬等製造設備の稼働を開始します。

③国内営業

- －既存主力製品の市場シェアの持続的な拡大を目指します。
- －新製品を早期に市場浸透させます。
- －営業体制の再編成を行い営業効率向上を図ります。

④海外事業

- －アジアの自販体制強化により売上高拡大を図るとともに、信頼性保証体制の整備を行います。
- －欧米での新薬販売を視野に入れた体制整備を行います。

2) バイオケミカル事業

- ①高付加価値アミノ酸等重点品目の拡販を行います。
- ②キリングroupとのヘルスケア領域における連携強化を図ります。
- ③ファインケミカル製品及び医薬品原薬の安定供給のため生産体制を拡充します。

3) 化学品事業

- ①基盤事業を強化し、主力製品の拡販と収益安定化を目指します。
- ②環境対応型機能化学品の拡充とグローバル展開の促進を図ります。
- ③安全・安定操業体制の充実に努めます。

4. 株主還元

- ・当中期経営計画においても、のれん償却前利益ベースにおいて連結配当性向 30%以上を目標とします。

以上